



一般質問

- ふれあいの森知名度アップと有効活用を
- 地方創生で鏡石らしい事業はあるか
- 太陽光発電施設について
- 土地評価や構築物の取扱いはどうなるか**

今泉文克議員

総務課長
地方創生については消費喚起プレミアム商品券及び先行型としては、地域創生総合ビジョンの策定として1千万円の事業費と先行事業1千5百万円を計上している。補助率は10分の10となっている。

総務課長
田んぼアートを中心としたおもてなし事業を活用した地域観光資源イメージアップ事業を、先行事業に組み入れる戦略づくりにおいて、ただ今のご意見等を参考にしたい。

税務町民課長
設置以前の土地の形状と造成後の形状が異なつている場合の課税評価額は、課税地目及び評価内容を見直している。具体的には、農地や山林を造成した場合、雑種地として評価している。

税務町民課長
単に屋根の上に設置された太陽光発電パネルは、長年自然に耐えられるように設置されている。これは構築物として取り扱うような検討が必要と思われるが、どのように考へているのか。

質問
町長
震災と豪雨から復旧したふれあいの森公園について、今回の整備拡充を機に、施設活用運営施策を策定し、知名度アップと有効活用を図るべきと考えるが、町はどうの幅に増加している。

質問
町長
昨年7月の再オープン後、町内の保育所、幼稚園等を招待して、遊び方講習会を実施するなど、PR活動を行つてきた。利用者は震災前より大幅に増加している。

質問
町長
来年度からの事業開始だが、町ではここ5年くらいとその後との事業が計画されているので、リンクできるようになつたのか。

質問
町長
震災以降、住宅も含めて町内各地にメガソーラーが設置されている。太陽光発電の設置状況は、どのようになつているか。

質問

質問

質問

質問

質問
総務課長
この事業は住民生活等緊急支援対策の交付金なので、町民に平等に行き渡るようにするべきと考えるが、町はどうの



プレミアム商品券で消費喚起を

質問
総務課長
国の交付金から換金手数料と商品券印刷費等の経費を除いた、2千万円を商品券のプレミアムとして実施したい時期については、6月をめどにしている。



プール利用者を増やすことも大切

質問
総務課長
当町でも消費喚起プレミアム商品券発行を計画しているが、27年度では地方版の総合戦略の町として具体的な計画策定を進めたい。

質問
総務課長
プレミアム商品券は印刷された紙でも、現金と同じである。換金や保管等は防犯上の問題もあるため、金融機関等に保管販売を委託したほうが良いのではないか。

質問
総務課長
プレミアム商品券の販売上限を設定した場合、世帯の情報についても考慮しなければならない。金融機関委託についても検討したい。

質問
教育長
折半ということだが、利用者は増えている。町が負担しながら増えているが、指定管理者は企業努力として、利用者増に取り組む努力が見られないと感じているが、町はどうの



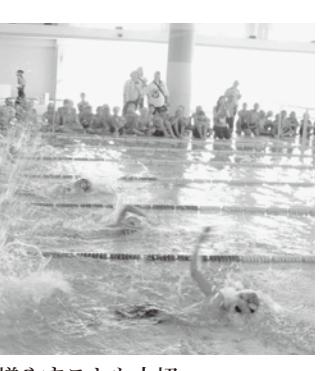
一般質問

- 「住民生活緊急支援事業」でプレミアム商品券の発行方法は
- 町民プール指定管理者は「もっと利用者増を図るべき」では

長田守弘議員

質問
地域住民生活等緊急支援交付金事業について、多くの自治体がプレミアム商品券を考えているようだが、当町では、どのようなものを考えているのか。

質問
町広報紙を含めて、様々な機会と媒体を利用して周知したい。販売については商工会に委託し、各世帯に行き渡るように購入制限を設けたいと考えている。



質問
べきと考えるが、住民に対する具体的な告知方法はどうなっているか。
昨年、プールの年間券、半年券を半額にしたが、全部町負担だったのかあるいは、管理者との折半だったのか。

質問
半額の半分が町で、残り半分が指定管理者となっている。
定であり、リスク負担は発生しないと考えている。

質問
町長
震災以降、太陽光発電設置に関する環境が変化している。町として設置業者に対して安心して永続的にできるよう環境を考えるか、あるいは規制や許認可といった基準づくりを進める考えはあるのか。